

せたがや女性防災
コーディネーター養成研修
実施報告書

I. 各研修の実施結果

第1回

月日	研修内容	講師（敬称略）
2018年 11月28日（水）	§ オリエンテーション 女性防災コーディネーターへの期待と研修の進め方 § コミュニケーションの基礎 年代性別の違いを超えてのコミュニケーションを学ぶ	世田谷区立男女共同参画センター らぶらす 館長 桜井陽子 NPO 法人アサーティブジャパン 代表理事 森田汐生

【概要】

はじめに、本研修のプログラムを検討する委員会の委員長を務めております桜井さんから、女性防災コーディネーターへの期待と研修プログラムの全体像についてご説明いただきました。

続いて、NPO 法人アサーティブジャパンの代表理事である森田さんから、せたがや女性防災コーディネーターに求められるコミュニケーションスキルを身に付けることを目的としたアサーティブトレーニングにより、座学とロールプレイングを通してアサーティブにコミュニケーションをとる際の姿勢やスキルについて学びました。

せたがや女性防災コーディネーターとは

どのような方にご参加いただいたか

- ⇒ 町会・自治会、青少年委員など地域の活動に取り組んでいる女性で、研修の成果を地元団体にフィードバックしていただける方

どのような活動、役割を期待しているか

- ⇒ ①多様性に配慮した女性ならではの視点で、地元の防災活動等における活躍を期待
- ⇒ ②地元の活動におけるコーディネーター（調整役）、またはリーダー（影響力のある人）の役割を期待

具体的には、次のような活躍を期待

- ⇒ ①避難所運営組織等への積極的な参加
- ⇒ ②防災等の啓発講座の講師など

いま、なぜ、女性防災コーディネーターか

- ・そもそも、世田谷区防災会議「女性の視点部会」(2015年10月～2017年3月)
- ・世田谷区には、性別、年齢、障害の有無、国籍などが異なる多様な方々が暮らしています。
- ・災害発生時、避難所には乳幼児を抱えた母親や妊娠中の女性、介護の必要な高齢者、障害者などさまざまな方が滞在することになります。
- ・そこで、避難所運営をはじめ、平常時に地域の防災を考える上でも不可欠なのが、多様に配慮した女性の視点です。
- ・しかし、これまでの防災、災害・復興対応にそうした視点からの取り組みはあまりみられませんでした。

↓

- ・世田谷区は地域防災計画の修正にあたり、「女性の視点部会」を設置。防災への取り組みに女性の視点、多様な視点を盛り込むこととしました。

「女性の視点部会」の取り組み

- ①世田谷区地域防災計画への反映
 - ・計画全体への男女共同参画の視点及び要配慮者への配慮
 - ・応急対策・復旧復興・予防時における女性の視点の反映など
- ②マニュアルの整備
 - ・避難所運営マニュアル等各種マニュアルへの女性の視点の反映など
- ③具体的事業の推進・実施
 - ・防災活動を行っている区民や団体を対象とした勉強会・研修会
 - ・訓練の実施（HUG等）など

↑
平常時の取り組みの充実

予防対策

↓

地域防災計画
～あらゆる場面で
女性、多様な視点～

↑

復旧・復興

⇄

応急対策



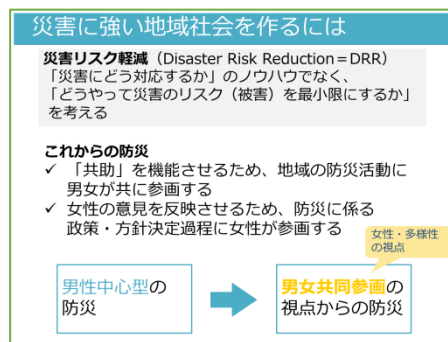
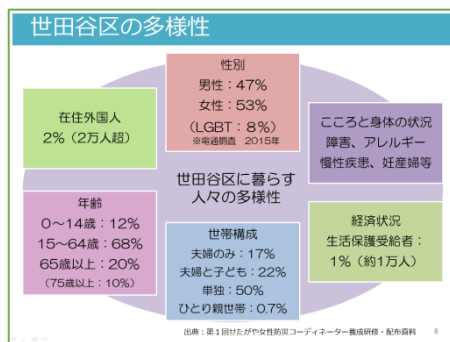
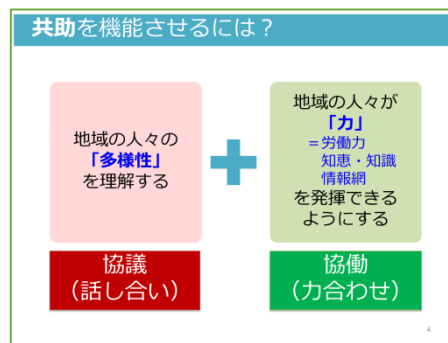
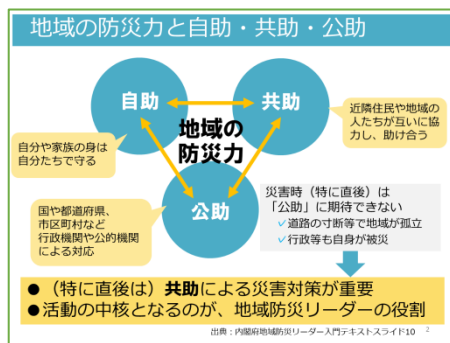

第2回

月日	研修内容	講師（敬称略）
2019年 1月23日（水）	§ 防災における女性の視点 女性の視点から地域防災を具体的に考える	内閣府大臣官房政府広報室 広報専門官 土井真知

【概要】

まず、世田谷区危機管理室災害対策課から、世田谷区の避難所に関して、基本的なポイントをご説明いたしました。

続いて、本研修のプログラムを検討する委員会の委員を務めております土井さんから、「防災における女性・多様性の視点」というテーマで、防災における女性・多様性の視点の重要性やそれを実現するための方法について、座学やグループ毎のワークショップを通して学びました。



第3回

月日	研修内容	講師（敬称略）
3月16日（土）	§ 尊厳と健康を守る災害時のトイレ 女子校生と考える 命を守るトイレの話 災害時トイレの展示アリ	目黒星美学園中学校高等学校 教諭 京百合子、生徒のみなさん

【概要】

目黒星美学園中学高等学校の京さんと生徒のみなさんから、『「こころとからだを守る」災害時のトイレ』というテーマで研修をしていただきました。

まず、座学を通して、多様性に配慮した視点から災害時のトイレの問題について学びました。続いて、目黒星美学園高等学校の生徒のみなさんにもご参加いただいてワークショップを行い、“みんなが使いやすい”災害時のトイレのルールについて検討しました。

多くの人がいるのは...?

ぜひ学びたい!

つまらぬぞう

楽しそう!

やる気?うへん...

地震は来ます!!
備えなければ!!

作戦変更!

生徒の自助意識を変えたフレーズ

「先生は、
皆さんを守りま〜…」

最初に全校朝礼で宣言したときは
生徒がざわつきました。

災害とトイレ

課題

メディアで取り扱われない

↓

自分の問題として
考えるべき

今までの取り組み

@国土交通省に提案!

私にとって防災とは、

防げないから守ること

今と未来を繋ぐ架け橋

「社会貢献」への第一歩

発表時間: 3分

他のグループの人たちは、「避難所に来た人はかりの人」役です。メンバーで協力・工夫して「トイレルール」を伝え

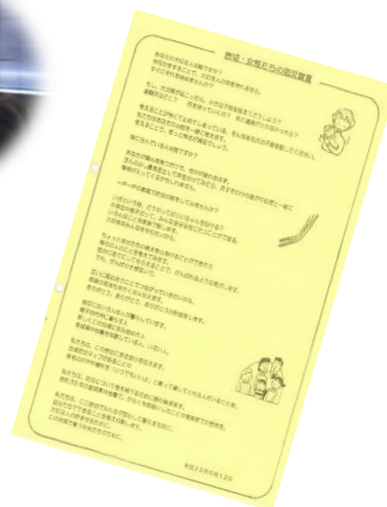
第4回

月日	研修内容	講師（敬称略）
4月20日（土）	【公開講座】 § 東日本大震災、熊本地震の被災地の事例から学ぶ～女性の視点での避難所運営、災害復興	仙台市地域防災リーダー、岩切の女性たちによる防災宣言を作る会 世話人 菅野澄枝 益城だいすきプロジェクト・きままに 代表 吉村静代

【概要】

東日本大震災、熊本地震を経験された、菅野さん、吉村さんにお越しいただき、災害時の貴重なお話を頂きました。

お二人のご講演や質問コーナーでは、避難者同士の思いやりや気遣いが広がっていくことで、生活の場を取り戻していったという点をはじめ、実際の被災地の事例から“避難所における女性の視点”の必要性を改めて学ぶことができました。



第5回

月日	研修内容	講師（敬称略）
5月29日（水）	世田谷区オリジナルHUG（避難所運営ゲーム）をつくる（その1） § 静岡県版HUGの体験	世田谷区災害対策課

【概要】

第5回～第7回の研修は、多様性に配慮した女性の視点からの防災について地域に知ってもらうために、地域に受け入れられる『得意技』として、「世田谷版HUG」をつくることを目指しました。

第5回の研修は、オリジナルHUGの作成に先立ち、まずは静岡県版HUGを体験し、女性の視点、多様性の視点など、足りない視点や追加したい要素等について検討しました。

1. 多様性に配慮した女性の視点からの防災

最終目的

視点の必要性、重要性を地域の皆さんに知ってもらうこと

地域に知ってもらうために

女性防災コーディネーターを養成

女性防災コーディネーターが、中心となって、地域の様々な場面で啓発を進めていただく

ゲームのやり方 カードについて

HUGには2種類のカードがあります

①避難者カード

82 世帯番号【21】
東池452【東池1班】

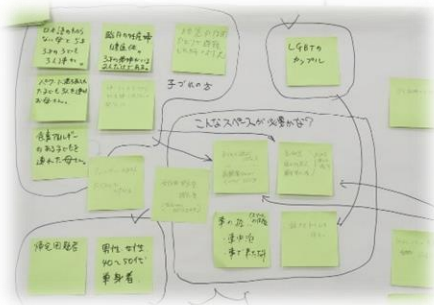
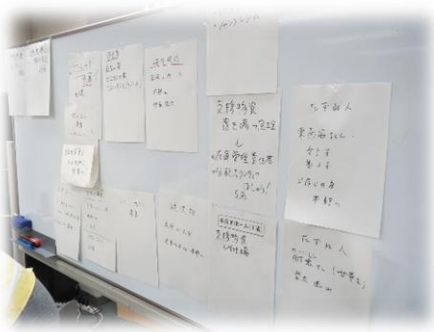
とっぴ
突風さん
【男51歳】全壊
父、世帯主、妻

世帯主の父は心臓病あり、妻はうつ病。

②イベントカード

75

災害対策本部ですが、炊き出し用の鍋、釜、食器などが21時に到着します。炊き出し場を決めておいてください。



第6回

月日	研修内容	講師（敬称略）
7月10日（水）	世田谷区オリジナルHUG（避難所運営ゲーム）をつくる（その2） § 世田谷版 HUG に盛り込む区の災害対策の仕組みについて § 世田谷版 HUG イベントカードについての検討	せたがや防災NPOアクション事務局長 柴田真希 世田谷区災害対策課

【概要】

第5回の研修を踏まえ、多様性に配慮した女性の視点から、災害時に起こりそうな困った状況について、世田谷版HUGのカードを作成しました。

新しいHUGのカードについて、まずは研修生でカードの対応策を考えるワークショップを実施しました。ワークショップでは、大きく4つのテーマについて検討し、ワークショップの最後には、委員及び区も交えた意見交換を行いました。



対応策やプレイヤーに気付いてもらいたいことを意見交換しましょう

テーマ①

子育て中の家族などへの対応はどうしたらよいでしょうか。

<世田谷版HUG カード>

- 子どもの夜泣きがひどいのですが、避難所に入所して良いですか？
- 安心して授乳できる場所はありませんか？
- 生後10日の乳児を連れてくる。母乳で育てている。赤ちゃんは夜泣きがひどい。おむつも足りない。
- 妻は妊娠3か月。体調が優れないため、横になって休むところはないか？
- 母子家庭。子どもが避難所内を激しく走り回っている。
- 妊婦と乳児の母子家庭。物資配給の列に並べないがどうしたらよいか？
- 夫婦共働きのため、昼間子どもの面倒を見ることができない。どこかで、子どもの面倒を見てもらうことはできないか？





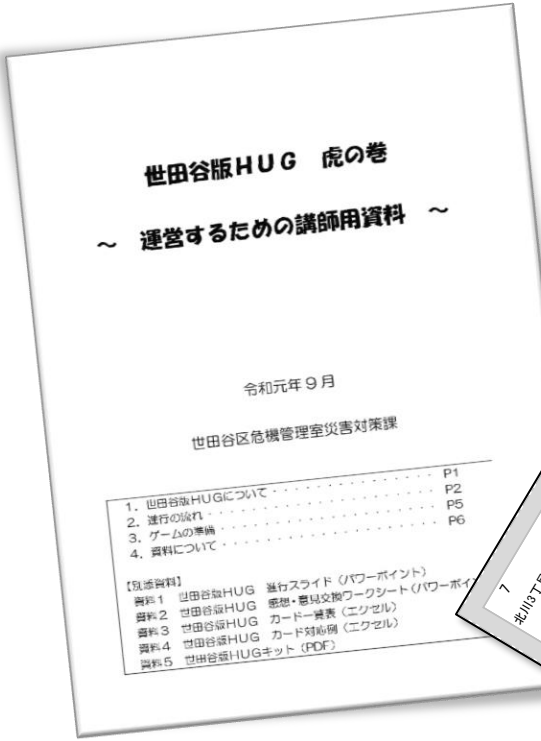
第7回

月日	研修内容	講師（敬称略）
5月29日（水）	世田谷区オリジナルHUG（避難所運営ゲーム）をつくる（その3） §「世田谷版HUG」の解説 §「世田谷版HUG」の体験	世田谷区災害対策課

【概要】

完成した「世田谷版HUG」について、ゲームに向けた準備、ゲーム当日の対応（ゲーム前の講義、ゲームの運営、ゲーム後の振り返り）、虎の巻等の資料の使い方を確認しました。

また、地域啓発研修等で使いこなせるようになるよう、ゲーム説明やファシリテーションも含めた練習として、受講生自らの進行により世田谷版HUGを体験しました。



令和元年9月
世田谷区危機管理室災害対策課

1. 世田谷版HUGについて	P1
2. 進行の流れ	P2
3. ゲームの準備	P5
4. 資料について	P6

【別途資料】


資料1 世田谷版HUG 進行スライド（パワーポイント）
資料2 世田谷版HUG 感想・意見交換ワークシート（パワーポイント）
資料3 世田谷版HUG カード一覧表（エクセル）
資料4 世田谷版HUG カード対応例（エクセル）
資料5 世田谷版HUGキット（PDF）

虎の巻一式

■世田谷版HUG(案)ができました。

- “世田谷区で” 災害時に起こりそうな状況が書いてあります。
- “多様性の視点で” 配慮や工夫が必要なことを考えるためのゲームになっています。

地域のみなさまにも、多様性に配慮した対応を考えてもらうきっかけづくりができます。



第8回

月日	研修内容	講師（敬称略）
10月23日（水）	研修終了にあたって § 今後のフォローアップについて § ワークショップ：コーディネーターの今後の活動を考える § 修了証授与、決意表明 § 研修総括	世田谷区女性防災リーダー育成検討委員 世田谷区災害対策課

【概要】

研修の締めくくりとして、世田谷区より今後のフォローアップについて説明するとともに、コーディネーターの今後の活動を考えるワークショップを実施しました。また、全8回にわたるせたがや女性防災コーディネーター養成研修について、桜井委員長より、受講生ひとりひとりに修了証を渡し、みなさまからせたがや女性防災コーディネーターとしての今後の活動について決意表明を頂きました。

